

京都に住む在日同胞のあんな人、こんな人を紹介します。

サラン

사람·SALAM·사랑·SALANG

発行：NPO 法人 京都同胞センター / 〒615-0041 京都市右京区西院南高田町 17 / TEL075-313-3604 / FAX075-313-8308 / Email support@corea-k.net

■京都同胞『人』紹介・・・1～3面
■生活情報お知らせ・・・4面

社会不安・核家族化・地域の崩壊。子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化し、育児・子育ては深刻な社会問題となっている。そんなオンマ（お母さん）たちを支援しようと京都府内各地域で行われているオンマオリニ（お母さんと子ども）サークル。

5月17日にウイングス京都でオリニマダン（子どものひろば）が400名の参加のもと盛大に行われた。今回のオリニマダンでは7名の若いオンマたちで事務局を組み、6ヶ月間の準備期間を経て行われた。今回事務局を務めた金薫美さん。三人の娘を育てながら、輸入販売の仕事もこなすキャリアウーマン。そのかたわら西地域でオンマオリニサークルも切り盛りしていた。オリニマダンの事務局長となつてからは昼夜をとわず奔走。『何んかが発起して、何んかが付いてくる。そんな事務局にしたくなかった』。金さんは事務局の意識の共有、相互理解に気を配りながら事業を進めた。企画内容では『来場してくる』オンマと子どもたちに、ただ純粹に楽しんでもらうため』にみんなで意見を出しあい様々な企画を考えた。そうすることでいろ



みんなの喜ぶ顔が好き、
そんな自分の為にやっています。

当日はオンマとオリニだけでなく、多くのアッパたちも参加した。シャボン玉や塗り絵、各種工作コーナーにマジック、バルーンショウなど討議に討議を重ねた多彩な企画が盛り込まれた。

『喜ぶ子どもたちの姿と、楽しかったと言ってくれる保護者の声がとてもうれ

んな企画が生まれ、目を引く大がかりな企画ではないがみんなの気持ちがあもつたものとなった。するとイベントの広報にもその成果が表れた。当初200名を予定していたが、事務局の宣伝と、また口コミで好評であることがすぐに実感でき、動員目標も当初の倍である400名と変更した。

『みんないろいろな悩みを抱え考え方もまちまちだが、やはり人とのふれあいや繋がりを求めている』というのを肌で感じた。『核家族化や不景気でみんな心もさみしくなっているのではないでしょうか』。また『オンマたちも家事や育児に追われ家にこもりがち。子どもの為なら（理由として）外に出やすいのでは』と笑う。



オリニマダン事務局長
金薫美さん(下京区在住)

■京都府内のオンマオリニサークル

『アイアイキッズ』	TEL 691-8088	(南地域)
『ポッポキッズ』	TEL 691-9496	(西地域)
『プチエンジェル』	TEL 601-5068	(伏見地域)
『エンジェルクラブ』	TEL 601-5068	(伏見地域)
『セットンクラブ』	TEL 861-2929	(右京地域)
『ピョンアリクラブ』	TEL 392-7980	(西南地域)
『イエッポキッズ』	TEL 467-0085	(西陣地域)
『ベベクラブ』	TEL 467-0085	(西陣地域)
『ソンスリ』	TEL 781-6061	(左京地域)
『ポッポクラブ』	TEL 0774-41-7248	(南山城地域)
『オンマオリニクラブ』	TEL 571-8301	(山科地域)

『合った』と満足げに感想を語ってくれた。家事と仕事に追われながらも在日同胞たちの子育て支援活動に取り組み金さん。『確かに忙しいけど、大変だと思ったことはありません。自分は掃除機みたいな人間だと思いません。バイタリティーがそうさせるかもしれません』。しかし「へこむ」ときもあるそうだ。

『会合に参加したり、走り回って、どつと疲れて家に帰ったとき、家事がおろそかになっていると、さすがにまいりますね。『自分は何をしたらいいんだろう...』って「へこむ」ときもよくあります』と明るい口調で話す。

『でも楽しんでもらったり、喜んでもらうとすごくうれししいし、元気が出る。そういう意味では人の為というより、自分の為にしていると思います』。

今後の抱負を聞いてみた。『ポッポキッズ（西地域のオンマオリニサークル）も卒業したし、次のステージへ向かいたい。子育てや育児を通じて同胞たちが集まる場、癒しの場をもつとつと創っていききたい。金さんのバイタリティーはまだまだ尽きることはないなと思う』。

お悩み、お困りごとは京都同胞生活センターまで！

TEL 075-313-3604

相談無料！なんでもお気軽にご相談ください！誠心誠意お答えいたします。

右京同胞生活総合センター TEL 075-861-2929	西同胞生活総合センター TEL 075-691-9496	西南同胞生活総合センター TEL 075-392-7980	山科同胞生活総合センター TEL 075-571-8339
伏見同胞生活総合センター TEL 075-601-5068	西陣同胞生活総合センター TEL 075-467-0085	中京同胞生活総合センター TEL 075-821-1485	口丹同胞生活総合センター TEL 0771-63-2121
南同胞生活総合センター TEL 075-691-8088	左京同胞生活総合センター TEL 075-781-6061	南山城同胞生活総合センター TEL 0774-41-7248	三丹同胞生活総合センター TEL 0773-75-1816



朴淳湖さん(南区在住)

さまざまな地域福祉活動に取り組む

『南同胞恵いのマダン』。どこからともなく同胞高齢者たちが集まってくる。期待にみちた明るい表情と、交わす挨拶の声が心地よい。部屋に入るや互いに安否をたずね、いろんな世間話が行きかい、ほのほとした時間が始まる。

その傍ら、ところ狭しと動き回る朴さん。お年寄りの送迎に昼食の準備、その日のスケジュールの確認。また参加者の体調や気分にも気を配る。その間片時も笑顔を絶やさない。参加者が健康体操やカラオケを満喫している姿を嬉しそうに表情で見つめていた。

今年4月から地域の同胞高齢者たちの恵いの場を提供しようと『南同胞恵いのマダン』を発起した。同胞介護事業所エルファで培ったノウハウと、京都外国人高齢者・障害者生活支援ネットワーク・モアでの活動経験が発起のきっかけとなった。

『南区には多くの同胞高齢者たちがいるが、多くの方々が在日同胞の運動を第一線で切り開いてきた人々。一世たちに「施す」というよりも「学びたい」という気持ちがあった。』
 独居や、老老世帯高齢者の家を定期的に訪問し安否を確認し、話し相手にもなっている。



同胞高齢者からもっとたくさん学びたい



【南同胞恵いのマダンお問い合わせ先 0691-8088】

いわゆる傾聴ボランティア活動。

『同胞のお年寄りたちは、人恋しきからか、ただ訪ねて行くだけでも大変喜んでくれる。話を聞くだけで喜んでもらえる。恵いのマダンでは(家で日中)一人ではご飯も食べる気せえへんけど、みんなとたべたらおいしいな』と言ってくれる。喜んでもらえることが何よりもうれしいです。』と朴さん。

介護制度の不備と老後の不安が喧伝される中、地域での支えあいと、助け合いが何よりも必要とされている。老いを恐れず、高齢者たちがいつまでも生きがいを持って暮らせる、心の通った温かいネットワークのある地域を目指したいという。

『南同胞恵いのマダンお問い合わせ先 0691-8088』

弁護士を育てる法科大学院で教鞭をとる金尚均教授。今年6月に、在日同胞の為の、「外国人無料法律相談」を仕掛けた。日ごろから蓄積した弁護士や専門家との連携を活かし、「外国人法律ネットワーク」を立ちあげ、在日同胞に対するボランティアでの法律相談の協力を得た。

“決め手”ではなく、“補助”として法律で在日社会に貢献したい。

『いままでも個人的に法的な相談を受けたことが多々あった。これを同胞社会のシステムとしてより充実させることが、同胞社会の発展につながる。常日頃から考えていた。』
 日本社会の中でも特に在日同胞社会は法的サービスに

なじみがある。『法律は生活の決め手ではないが「補助」にして用い、さまざまな問題に対して活用してほしい。特に無料法律相談を「生活の健康診断」として気軽に利用してほしい。あきらめたり、内向きにならず、前向きに対処することの一助になりたい。』
 今後同胞たちの生活はもちろん、同胞の権利や人権を守るためにこのネットワークを運営したいと熱く語る。『今までの人生で、さまざまな出会いが今の自分を位置付けてくれた。いま自分が研究者の道に進めたのも自分を位置づけてくれた同胞社会のおかげ。その同胞社会に少しでも自分の力を還元したい。』
 *無料法律相談に関しては4P参照



龍谷大学法科大学院 教授 金尚均さん(伏見区在住)

みんなの力で社会に貢献 『ええカッコよささせてもらってます』



京都府青年商工会 会長 李憲福さん(伏見区在住)

京都府内の朝鮮学校を支援するためのチャリティゴルフコンペ「ミレカップ」表彰式で主催者あいさつが印象的であった。『皆様のおかげで青年会がええカッコよささせてもらってます。くだけた口調からでた本音である。カッコよさの「美学」が感じられる。』

今回で9回目となる京都府青年会チャリティゴルフコンペ「ミレカップ」。当初は在日同胞だけであったが今では日本人も多く、388名が参加した。また今まで朝鮮学校だけに支援をしていたが、去年から京都市教育委員会に、日本の学校でも不足している「AED(自動体外式除細動器)」を寄贈し、感謝状を授与された。このような社会貢献を指して「ええカッコよ」と表現するところに、独自の「カッコよさ」に対する美学があるのか。本人に聞いてみたところ、『あらへんわ、そんなもん』と二歳。

『本音をしゃべって出た言葉がそれやねん。ホンマにええカッコよさせてもらってるから出たんやと思う。』青商会ではチャリティゴルフの収益金で、毎年朝鮮学校の新生入生全員に制服を贈呈している。今年会長として初めて滋賀朝鮮学校へ出向いたとき、学校関係者や保護者から大歓迎を受けたという。『自分が何したわけでもないのに、ホンマにええカッコよさせてもらってる実感した。』
 カッコよさを流行りやブランド品など外見に求める若者が増える中、人間の深さや真の価値観について考えさせられる。
 『自分はいろんな人たちにそういう経験をさせてもらった。伏見地域で会長をしていた時、京都第一初級学校のトイレ改修のために、会としてカンパにまわった活動が印象深いとのこと。』便所を直すのにええ大人が千円をもらうため、家々を頭下げて回った。責任感を持って取り組むみんなの姿がカッコよかったと振り返る。
 『今の青商会がだれが会長やってもやっていける。今まで多くの先輩たちがそういうふうにな創ってきてくれたし、今の役員たちがそうさせてくれる。』自分を飾らず、自慢しない。自分は何もしていない、先輩たちがそうさせてくれる。わざわざし謙遜はみじくも感じられない。そこがカッコよさを感じられた。



●お知らせ●

同胞の皆様の 就職を支援します!

まずは電話でお問い合わせください。

NPO 法人 京都同胞センター

『就職支援事務局』

TEL 075-313-3604



外国人無料法律相談

●二カ月に一度、弁護士や専門家たちによる
在日同胞たちのための無料法律相談

2009年7月18日(土)

京滋信用組合伏見支店3階会議室

一般民事 / 借金・金銭トラブル / 消費者被害 / 相続 / 国籍・在留資格 / 夫婦・男女間のトラブル / 成年後見 / 労働関連 / 住環境 / 生活保護 / 破産・債務整理 / 保険・年金 / 事故・損害賠償 / 刑事事件 / その他

完全予約制・予約締切7月11日まで

担当弁護士; 中田 政義先生

*ご予約・お問い合わせは
NPO 法人京都同胞センターまで



『求職メールサービス』

NPO法人 京都同胞センターでは同胞企業数十社
に対して、『求職者情報』を配信しています。求職者の
要望に合わせ、希望職種や仕事に対する意欲などをPRできます。是非
一度ご利用ください。



同胞生活・法律相談ホットライン



京都同胞センターでは皆さんの日常のお悩みや
お困りごとに対する支援も行っています。

昨年度は800件以上の相談が寄せられ、国籍や
医療、保険、介護の問題、そして法的な問題は連
携する弁護士や専門家を紹介するなど、一つ一つ
の案件に誠心誠意取り組みました。

どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

電話相談 (月~金)

午前10:00~午後5:00

TEL: 075-313-3604

FAX: 075-313-8308

summer school



サマースクールとは?

サマースクールは、日本学校に通っている
在日コリアン学生達のサマーキャンプ
です。

民族の踊りや歌を習う文化体験、座談会
や討論会、キャンプファイヤーに運動会
などたくさんのイベントが行われコリア
ンを最高に楽しむことができます。共に
考え、共に行動し共に語り合う2泊3日は
一生忘れられない夏の宝物になるでしょ
う!

今年のサマスは... 滋賀県希望が丘文化公園 <京都サマースクール実行委員会>
2009. 8. 10(月)~12(水)に決定!! TEL: 075-313-6231

在日コリアン大学生・専門学校生
300人のメガキャンプ

1st
2009

2009.8.12-14
ハチ高原(兵庫県)で開催決定!!
TEL 075-313-8464

今回京都同胞生活ニュース特別号『サラン』を発行させていただきました。みなさんお楽しみいただけただけでしょうか?今回紹介させていただいた人々の写真!みなさん大変いい表情をしていました。それもそのはず今回カメラは一眼レフに挑戦。表情をクリアに撮影でき、背景のぼやけ具合も最高だと自負しています。さてゲーテの戯曲『ファウスト』の一場面。恋に落ちたファウストは街娘グレートヒェンへの愛を必死に伝えようともがきます。…君への愛を伝えられないのは、僕に言葉が足りないのか、あるいは世に言葉が足りないのか…と、苦悩する。今回それに近い苦悩を覚え

編集後記

ました。みなさんの情熱、すべて伝えきれなかったのが残念です。編集をしながら特に難しかったのは、漢字の用い方。「おもい」、「つくる」という言葉。ただの「思い」ではなくより気持ちが強い「想い」。また在るものを合わせて「作る」のではなく、存在しない新しいものを「創る」という漢字を使わなければならなかった。それほどみなさん熱い「想い」を胸に、未来を「創る」ために頑張っているのだなと心を打たれました。そのすべてを描写するのは最高級の一眼レフカメラでも、世界の文豪でも至極困難だと感じました。「為せば成る。成らぬは人の為さぬなりけり」。やはり「人」なんですな。

京都同胞生活ニュース特別号に対するご意見をください。

NPO 法人 京都同胞センターでは今後不定期で特別号『サラン』を発行いたします。『サラン』は京都近隣で夢や理想をもって活動する『人』を紹介いたします。今後紹介してほしい人や、紹介したい人などがあれば編集部までお知らせください。自薦他薦は問いません。また紙面の内容に関しても、ご意見・ご要望などもお寄せください。

TEL 075-313-3604 / Email support@corea-k.net